



しもよねだ



No. 8

学校の教育目標 かしく(よく考える子) あたたく(思いやりのある子) たくましく生きる子(強い体の子) 令和5年10月31日

学徳高き<津田左右吉博士>のふるさと下米田で、**健やかに育つ子ら!**

日常の姿で“挑む”

校長 佐藤 亜紀

運動場の銀杏の葉が黄金色に染まり、ようやく秋の装いを感じる景色になってきました。本日10月31日は、総勢130名余りのお客様が道徳科の授業を参観され、子どもたちの姿を通して本校の日々の営みを感じていただく機会となりました。

先日、5年生は1泊の関研修を終え、6年生は11月の修学旅行に向けて取組が本格化しています。また、熱中症対策として11月29日に延期した運動会に向けての練習も、爽やかな秋晴れの中でまわっています。

学校では、行事も教育活動の一つとして位置付けています。これまでの生活や学習で高めてきた“日常の姿”は、子どもたちにとって宝であり財産です。その成果を普段と異なる活動の中で発揮し、新たな自分づくり・仲間づくりに広げていけるひとつの機会が“行事”だと思います。

日常の姿を高める場は、行事に向かう取組＝過程であり、最も重要だと考えています。保護者・地域の皆様には、いつもご理解をいただき、ご協力賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から (教務主任 中山)

今年度4月に6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を行いました。その結果からは、以下のような本校児童の特徴が見られました。

【国語】

- ・複数の資料に書かれている内容として適切なものを選択する問題では、内容を捉えることができました。
- ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように文章を書くことを苦手とする傾向があります。
- ・文章を読んで、原因と結果などの情報と情報との関係を読み取ることができませんでした。

【算数】

- ・2位数÷1位数の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができました。
- ・テープを直線で切ってできた三角形の面積の大小を問う問題では、底辺と高さ、面積の関係を基に面積の大小を判断したり言葉や数を用いて記述したりすることが苦手な傾向にありました。
- ・示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題では、基準量を○人としたときの比較量を捉え求めることを苦手とする傾向にありました。

【質問紙】

- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答している割合が多いです。困りごとや不安について、抱え込まないで対処の仕方を知っていることに安心しました。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した割合が多く、認められていると感じている児童が多いことが伺えます。

- ・家庭学習の習慣は、基礎的な学力の定着に大いに関わっています。引き続き、学校では、課題意識をもって取り組む姿勢づくりと、時間をかけてじっくり学習に向かうよう、働き掛けていきます。
- ・国語科では、授業や家庭学習において、日記等、自分の考えや思い、状況を既習の漢字を使って分かりやすく表現することに力を入れて指導を積み重ねていきます。また、新聞や本を読む機会を作り、活字に親しみながら語彙を増やすことも大切にしていきます。
- ・算数科では、問題を解決するために、場面や状況に応じて、必要な数量やその関係を捉え、図や式に表して、最後まで説明しきる指導を積み重ねていきます。また、題意に沿った問題の解釈ができるよう、答えの意味を問題場面に戻って考える指導を大切にしていきます。
- ・一人1台タブレットがあり、調べ学習が充実する環境も整いました。今後も、ICTを効果的に活用し、個別最適な学びを行いながら、より学習に興味・関心がもてるように支援していきます。
- ・今後も、学校生活の中で子ども達の良い姿を捉え、認め・励まし、さらに自己肯定感を育てていきます。

児童の実態に合わせてよさを伸ばし、つまずきを解消する等、調査結果を今後の教育に活かしていきたいと考えております。家庭や地域と学校が連携し、よい環境の中で、子どもたちを育てていきたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願いします。